

地域包括支援 問 介護保険課 ☎43-8264 FAX30-0011

認知症になっても住みやすい、やさしいまち下妻 下妻市認知症サポーター養成講座を開催

2月15日、イオンモール下妻1階フォレストコートで下妻市地域包括支援センターによる認知症サポーター養成講座が開催され、認知症に関心のある市民など約40人が参加しました。

同センターは、認知症に対する正しい知識と理解を持つことで、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする認知症サポーターを養成することを目的に開催。市職員による認知症に関する講演の後、イオン薬局の薬剤師による健康チェックや「認知症とも学びあひもつま」のスタッフによる認知症に関する相談会が行われました。



認知症に関する知識を学ぶ参加者



健康チェックをするイオンの薬剤師

男女共同参画 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

男女共同参画推進講演会 「『私らしく』働くこと～家族が笑顔になれるごはん～」開催



経験を交え講演をする菊地さん

市は、「仕事と家庭の両立」をテーマとした講演会「『私らしく』働くこと～家族が笑顔になれるごはん～」をWaiwaiドームしもつまで開催。講演会には市内外から31人が参加しました。

講師で料理家の菊地裕子さん(ゆうこ)は、自分で起業するに至った経緯を交えながら、自分らしく働くには「自分自身に余力があること」「困ったときは家族や友人、地域の人に頼ること」が大切と話していました。

講演会に参加した40代女性(南原在住)は「自分を見つめ直す良い機会になった。育休中で仕事復帰が不安だったが、1人で頑張らず周りを頼ってよいのだと思えて心が軽くなった」と笑顔で話してくれました。

防災・減災 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

マイ・タイムラインリーダー認定講座開催



マイ・タイムライン作成を学ぶ受講者たち

2月9日、下妻公民館で国土交通省関東地方整備局下館河川事務所によるマイ・タイムラインリーダー認定講座が開催され、県西地区の防災士など33人が参加してマイ・タイムライン作成などを学びました。

マイ・タイムラインは、河川の氾濫など想定して、「何時ごろ?」「いつ・誰と・どこに逃げる?」などの自分自身の災害からの逃げ方を知る防災行動チェックリストで、受講者たちは防災・減災の活動を地域に根付かせようと作成方法要領などの指導を受けていました。

常総市から参加した防災士の飯田ふじ子さんは「3年前の水害から地域の防災意識が変わった。しっかりと地域に情報と知識を発信したい」と話してくれました。

受章者紹介



瑞宝双光章
(高齢者叙勲)

しやな よしひさ
遮那 喜壽さん

元下妻市立大宝小学校長

(88歳・田町)

昭和26年4月に猿島郡香取村立香取中学校の教諭として赴任されて以来、本市および近隣町村中学校の教諭や養護学校舎監として勤務。その後、県教育委員会事務局指導主事、下妻市立総上小学校校長、下妻市立大宝小学校校長を歴任され平成3年3月に定年退職されるまで40年間教職を務め、特殊教育の振興に尽力し、学校教育の充実発展に貢献されました。「この度の受章は、皆さまの心温かいご支援ご指導の賜物と深く感謝申し上げます」。

環境美化 問 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

「道路里親団体」へ認定証交付

1月28日、常総工事事務所道路里親制度協定調印式および認定証交付式が行われ、TKクリーンクラブが国道125号と国道294号の約700mの区間において道路の里親団体として新たに認定され、同事務所、同クラブ、下妻市の3者により協定書が締結されました。この道路里親制度は、茨城県が管理する道路を住民団体、企業、学校などが、その道路の里親として認定を受け、清掃(ごみ拾い)や除草・花壇の手入れなどの活動を行うボランティア認定制度で、市内3団体が認定されています。



左から園部浩久常総工事事務所長、認定を受けたTKクリーンクラブ 塚田さん、菊池市長

受賞者紹介

茨城県市長会民間自治功労者表彰



いわせ かずこ
岩瀬 和子さん
(江)

平成9年から平成29年3月までの19年余の長きにわたり、下妻市選挙管理委員会委員を務められ、本市初の女性選挙管理委員として女性の幅広い行政参画の推進に大きく貢献されました。

また、平成25年4月から平成29年3月までの間は下妻市選挙管理委員会委員長として在職し、本市の選挙行政の発展に寄与した功績が認められ、茨城県市長会から民間自治功労者表彰を受賞されました。

茨城県統計功労者表彰 茨城県知事表彰



おおや つねお
大谷 長生さん
(下妻丙・大町)

平成30年度茨城県統計功労者表彰において、大谷長生さんが茨城県知事表彰を受賞され、2月6日に菊池市長から伝達されました。

大谷さんは、平成20年から多年にわたり各種統計調査に尽力され、その功績が高く評価されたものです。統計調査において、統計調査員が果たす役割はとて大きく、調査員の努力と活躍によって、国民生活の向上や社会の発展を支える情報基盤となる統計データを得ることができます。

有料広告欄